

都道府県番号	15
都道府県名	新潟県

【 】

学校名及び規模

学校名	六日町立六日町小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	2	3	1	18	26
児童数	82	90	95	83	74	91	4	519	

研究の概要

(1) 研究主題

自ら伸びようという意欲を持続して学ぶ子どもの育成
～算数科で確かな力を付ける少人数指導のあり方～

(2) 研究主題設定の理由

「自ら伸びよう」について
児童はどの子どもも「分かりたい、できるようになりたい」という願いをもっていること、学びの主体は児童であること、児童の学ぶ気持ちを大切にしながら、きめ細やかな指導をすること等を意図している。児童がどのように伸びているのか（実態）、これからどのように伸びていこうとしているのか（目標）を常に意識しながら指導にあたる。

「意欲を持続して学ぶ子どもの育成」について
学力の向上は、児童の「学ぶ意欲」に支えられている。児童が「意欲を持続して学ぶ」ようにするために、個の実態に目を向け、細やかな指導を目指す。児童の興味・関心を高める学習課題を設定したり、多様な算数的活動を選択できるような授業を組織したりすることで、児童の主体的な学びが具現できると考えている。

「算数科で確かな力を付ける少人数指導のあり方」について
個に応じた指導を目指すとき、児童の実態から複数のめあてや学習の展開が必要になる場合がある。単元の流れでこのような必然性ができたときには、積極的に課題別や習熟度別編成による少人数指導を位置付ける。

また、多様な算数的活動を支える教材の工夫をして、授業にあたるようにする。個人差の表れやすい算数科を窓口にしなが、学力向上を目指すことにした。



研究仮説

評価を生かしなが興味・関心を高める課題設定をし、多様な算数的活動を選択できるような授業を展開すれば、児童は学習意欲をもって自ら学び、確かな力をつけることができる。

研究の概要

(1) 研究の推進体制の工夫

各学年の職員と級外職員がチームを組み、教材研究や実際の指導にあたる。
TT指導や習熟度別、課題別編成少人数指導を弾力的に行う。

	少人数指導の方法	指導体制
1, 2年	32人以下の担任による個に応じた指導、必要に応じてTT指導	担任＋級外職員
3年	3学級を4クラスに編成した少人数指導	担任＋級外職員
5年	2学級を3クラスに編成した少人数指導	担任＋級外職員
4, 6年	時間表に位置付けた週1～2回程度のTT指導	担任＋級外職員

保護者による学習ボランティアを学年ごとに、必要と思われる単元で募集し、担当職員の指示のもとで学習活動を補助する。

(2) 研究の実際
個に応じた少人数指導

- ・全学年の算数で実施
- ・学級解体して教師が編成した等質少人数集団
- ・クラス、ステップ、ジャンプ、アタックを母体として実施
- ・単元の途中、プレテストを実施し、要するじっくりと「基礎」の定着を図る
- ・「ぐんぐんコース」による習熟度別コース学習を実施（図1参照）
- ・単元によっては、学習ボランティアの活用等により「課題別コース学習」を実施

コース選択学習を位置付けた単元構成の工夫（3年わり算：全10時間） 図1

□ ...等質少人数学習 ▭ ...コース選択学習

時間	学習形態				主な学習内容
0.5	ホップ	ステップ	ジャンプ	アタック	プレテストでコース選択
1.5	じっくり	ぐんぐん(2クラス)		わくわく	習熟度別コース学習 (等分除の意味理解)
2.5	ホップ	ステップ	ジャンプ	アタック	(乗法九九で等分除求答) (等分除の文章題作り)
3.5					プレテストでコース選択
4.5					
5	じっくり	ぐんぐん(2クラス)		わくわく	習熟度別コース学習 (包含除意味理解)
6	ホップ	ステップ	ジャンプ	アタック	(乗法九九で包含除求答) (包含除の文章題作り)
7					(1や0を含むわり算)
8					
9	問題作りと解法	友達の質問解決	四則混合問題	生活適用問題	課題別コース選択学習 学習ボランティアの活用
10	じっくり 1クラス3T体制		ぐんぐん 3クラス1T体制		定着を目的とする 習熟度別コース選択学習

- 多様な算数的活動を支える教材の工夫
- ・具体物、班具体物などの教材の準備
 - ・子どもが自由に選択できる学習環境の整備（ペットボトル、牛乳パック、各種カップ類など生活用品の常設）
 - ・子どもが自由に取り組む学習プリント類の作成と保管棚の設置
 - ・六日町学習指導センターと連携した、補充的な学習や発展的な学習に活用する「算数学習副読本（ひらめき学習）」の編集と教材の開発

- カルテを生かした指導と評価の一体化
- ・学力の実態分析に基づく重点単元の洗い出しと「六日町小学校の算数科でつきたい力」の設定
 - ・座席表や名簿をもとに、子ども一人一人の学習の様子を見たり、単元の評価規準表に記録（図2参照）
 - ・集積した指導と評価の記録及びワークテストの到達度一覧等を、「学級のカルテ」としてファイルに整理し、次の単元の指導に活用
 - ・評価規準に基づいて学習内容を明示した1単元1枚の「学習振り返りカード」を用いた、子ども達による毎時間自己評価を実施（図3参照）
 - ・学習振り返りカードは毎時間終了後、指導担当の教諭が「子ども一人一人の学び方に視点をあてた励ましコメント」を記入
 - ・単元終了後、子ども達は学習振り返りカードを家庭に持ち帰り、保護者が賞賛や激励の評価を記入
 - ・子ども達は単元で用いた学習プリントやプレテスト学習振り返りカード等を、「個人のカルテ」としてファイルに集積
 - ・「学級のカルテ」と「個人のカルテ」を、次の単元の目標設定や指導の構想立案に活用
 - ・指導方法の改善を図るため、学年ごとに月1回「レポートの会」を実施

- 基礎基本の確かな習熟
- ・「5分間計算ダッシュ」「算数用具の使い方」等の計画的、継続的な実践

【2年たし算：評価規準一覧表】 図2
(x：間違い -：無答)

児童	繰り上がりなし	繰り上がりあり	2位数+1位数	1位数+2位数	十の位で繰り上がる	波及的に繰り上がる	結合法則を使う	計算の誤りを見付ける	合計点数
A						x			95
B						x			90
C									95
D					x	x	x	-	75
E						x	x		80
F								-	85

ふりかえりカード 図3
2年組 名前

みんなのめあて	・ひっさんのやりかたがわかる ・たしざんのひっさんができる	
じぶんのめあて		
月日	がくしゅうしたこと	
/	「2けた+2けた」のけいさんのしかたをかかんがえる	
/	「2けた+2けた」のひっさんのしかたをかかんがえる	
/	ブロックをつかってひっさんのしかたをかかんがえる	

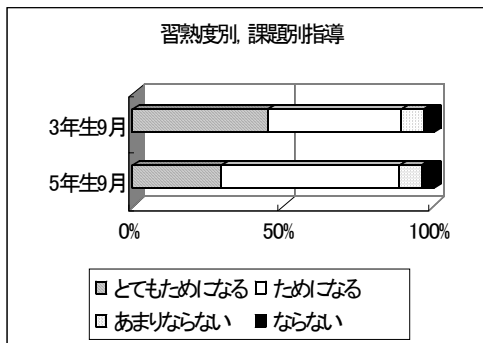
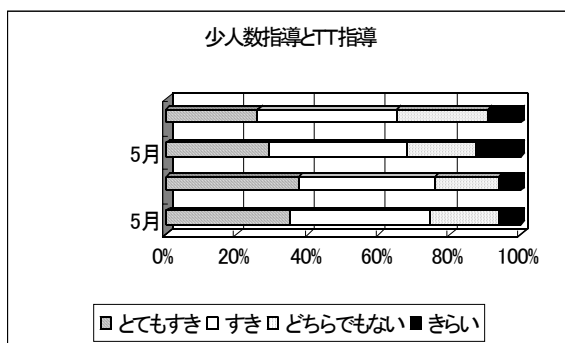
(3) 研究の成果と課題

研究の成果

- ・NRT学力テストで、全校の偏差値平均が53.6で、前年度比1ポイント上昇した。
- ・学力テストにおける「全国比領域別通過率」が5ポイント以上高い学年は以下の通りである。

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
平成14年度	3, 6年	2, 3, 4, 5年	2, 3, 4, 5, 6年	6年
平成15年度	3, 4年	3, 4, 5年	1, 2, 3, 4, 5年	3, 4年

- ・少人数学習で特に重点をかけた「量と測定」「図形」での成果が大きく、3年生以上で数値の低い子どもが減少した。
- ・「自分で問題解決しよう」「発表し合い、友達の考えから学びを深めよう」「身近な生活の中にある算数を感じよう」という姿が多く見られるようになってきた。
- ・子どもは自分により相応しいコースや教材プリントを選択するようになってきた。
- ・少人数指導、TT指導、習熟度別学習、課題別学習の子どもへの評価は以下の通りである。



今後の課題

- ・少人数指導やTT指導は加配によって職員数が増えたこともあり、確実に成果が上がっているが、限られた時間内の効果的な打ち合わせをしていく。
- ・「考えを十分に練り上げる場面」「習熟を図る場面」をバランスよく組み合わせて、授業を進めていく。
- ・1時間ごとの学習のねらいを明確にし、指導と評価の一体化をより確かなものにする。
- ・子どもの多様な追求活動を支えていく教材、教具の開発と場の設定を工夫していく。

(4) 研究成果の普及の方策

近隣フロンティアスクール間の研究成果の普及と情報交換

- ・フロンティアティーチャー研修会 6月2日(月)

公開授業研修を通じた研究成果の普及

- ・第1回学力向上フロンティアスクール研修会 6月13日(木)
- ・学力向上フロンティアスクール2年次中間発表会 11月11日(火)
- ・第2回学力向上フロンティアスクール研修会 1月23日(金)

地域協議会を通じた研究成果の普及

- ・第1回学力向上フロンティア南魚沼地域協議会 6月13日(木)
- ・第2回学力向上フロンティア南魚沼地域協議会 2月17日(火)

ホームページによる研究成果の普及

- ・ホームページは2月末に更新の予定 (<http://academic.plala.or.jp/rokusho/>)

(5) その他

地域(六日町)学習指導センターと学力向上に関する共催事業を開催

- ・公開授業に関する研修会の開催
- ・算数指導に関わる副読本の編集と活用

【新規校・継続校】

✓14年度からの継続校

【学校規模】

✓16学級以上

【指導体制】

✓少人数指導 ✓TTによる指導

【研究教科】

✓算数

【指導方法の工夫改善にかかわる加配の有無】

✓有

【特色ある取組事例として紹介したいポイント】

- ・子ども一人一人により適切な指導を行うために、実態や学習状況をきめ細かくとらえ、指導に生かしている点(学級カルテ、個人カルテの取組)
- ・少人数学習と習熟度別、課題別コース学習を弾力的に取り入れている点